

「犬山市一般廃棄物処理基本計画」（素案）についてのご意見の内容と市の考え方

案件名	「犬山市一般廃棄物処理基本計画」（素案）
募集期間	令和7年1月8日（水）～令和7年2月6日（木）
公開場所	市役所本庁舎1階市民プラザ、市役所本庁舎3階環境課、各出張所（城東・羽黒・楽田・池野）、シンエイライフ犬山ライブラリー（市立図書館）、市ホームページ
意見数	1件

いただいた意見・提案【1】

39 ページ『→プラスチック使用製品廃棄物の分別、収集、処理方法について検討する必要があります。』とありますが、『容器包装プラスチックも、収集方法を再検討すべき』だと思います。

現在容器包装プラスチックはステーション方式で収集されていますが、収集日の前日午後にはネットはほぼ満タン。翌朝出しに行った時には、出されているネットは全て満杯。無理やりゴミを押し込む事になります。しかも個人で用意した収集袋からわざわざ中身を出してです。

今後高齢者世帯が増加し、宅食や惣菜の利用が増えるとプラスチック包装の量も増える懸念があります。

22 ページ『資源物排出量の推移』を見てもその推移は明確で、他の資源ゴミと比較しても年々増加又はほぼ横ばいになっており、従来通りの収集方法では、近い将来パンクする事になります。

現在犬山に住んでいても、既にパンク寸前だと感じています。

他自治体の様にプラスチック包装用ゴミ袋を導入する事で、排出量の減少も期待できるのではないのでしょうか？

この機会に是非ご検討いただけたらと思います。

市の考え方【1】

プラスチック使用製品廃棄物については、プラスチック製容器包装と一緒に、又は別々に収集し、再商品化することが可能になりました。

プラスチック使用製品廃棄物の収集にあたっては、プラスチック製容器包装と同時に収集するのか、別々に収集するのか、を検討する必要がありますので、その中でプラスチック製容器包装の収集方法についての検討も行っていきます。

プラスチック包装用ごみ袋の導入についてのご意見も、今後検討する際の参考とさせていただきます。